

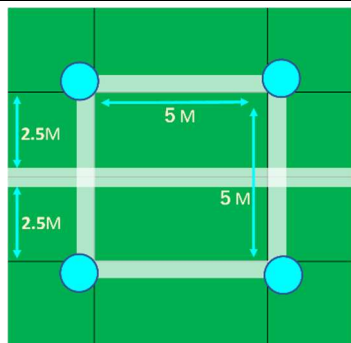
簡単！設営・ジャッジのポイント

◎設営

スタートラインは、計測線の内側に、サイドライン・スクエアは計測線の外側に引きます。

マーカーはラインの内側には入れない。
(右図・下図参照)

よって、ライン・マーカーに少しでもプレーヤーの足や犬の足が触れたらファールもしくはエリア外です。
また、得点ラインは計測ラインを中心に引きます。
得点ラインを踏んだ場合はポイントの低いエリアでのキャッチと判定します。

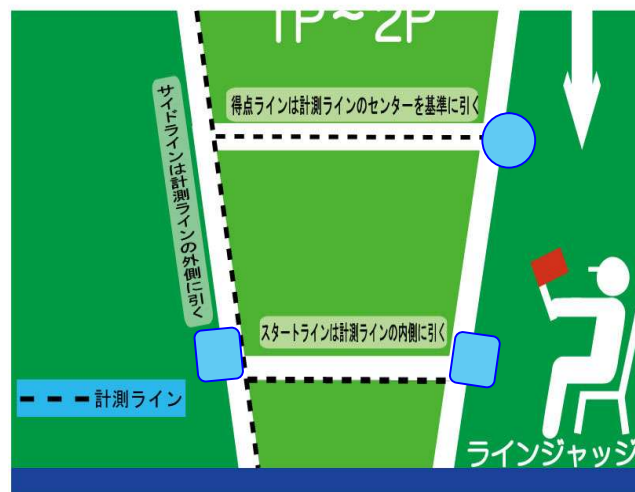


◎ポイント・到達エリアの示し方

下の画像は1～5Pを示しています。
※TTNは10m～40m(下図1～4)を示します。

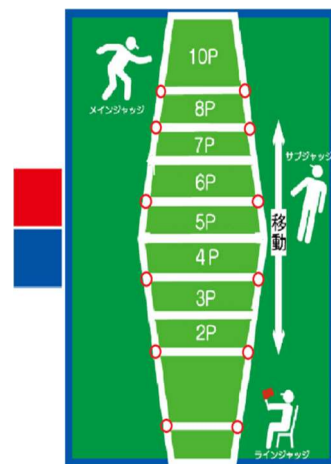


1～3の甲側を相手に向けると+5Pを意味し、6～8Pを示します。
ちなみにOPは「ゲー」です。
MC・記録に見やすく表現してください。



ディスタンス系

各ポイントエリアをはっきりと示せるように別のポイントエリアにポジションを取ります。



タイムトライアル・ネオ

到達エリアとサイドラインのIN・OUTを判断します。
各ジャッジ配置例

(下図参照)



◎ポイントの判断

ポイントは着地時に発生します。空中のキャッチに惑わされず、着地まで目を切らないこと。
犬がキャッチする体勢により見づらい場合は、相互のジャッジングを参考にします。

キャッチしたエリアについては、サブジャッジも自分の判断をハッキリと指し示します。(必要な時はポイントも示す)

ラインジャッジは、ショートエリアのポイントの判断を補佐します。
(0, 2, 3 ポイント)

判断に迷う時は、当該チームのラウンド直後に相互に確認します

◎ラインの白煙が上がったときの注意

キャッチ直後の着地点を判断基準とします。

通過時の白煙を間違えないこと。

※犬の足全てが着地した時を注視します

◎キャッチの成否の判断

※犬がキャッチ後に着地する、又はディスクダウンするまで眼を切らない。

◎犬に過剰な意識をされないように

ジャッジを行なう際には、犬の邪魔にならないポジションを取る。

◎フットフォルト

サイドラインも関係する。

スローイングエリアを囲む何れのラインを踏んでもファールです

◎ドッグファール

犬はスタート時にスローイングエリア外から走り出たり、マーカーに触れたり外側を走り出たらファールです。

ドッグファールを解消するには、犬を一旦スローイングエリア内に全ての足を着地させなければなりません。

ドッグファールを解消せずにプレーが続いている場合は、フラッグを挙げ続けてください。

※スタート前にスローイングエリアから人・犬がはみ出している際、フラッグを正面に差し出す警告サインを出します。

◎ラストスローのタイムアウト

メインジャッジが判断しますが、際どいタイミングは、ジャッジ間で確認する場合があります。

(確認がなされない場合で、明らかに異なる判断とわかる時は、メインジャッジに進言してください)

ジャッジングのポイント(事例集)

ジャッジングについて不明な点は、NDA スタッフやエリアリーダーに相談してください。
エリアリーダーから個別にアドバイスする事もありますので、柔軟な対応をお願いします。

◎紛らわしい位置でのキャッチ事例



まだ、前足が宙に浮いています。
この時点ではポイントは発生していません



右前足は着地していますが、後ろ足が前足同様のエリアに飛び込むか、手前のエリア着地かでポイントが変わります



後ろ足はしっかり着地していますが、前足をついた時の位置を確認してからポイントを判断します

◎フットフォルト・ポイント判断の見極め(例題)

フットフォルトの見極め

スローイングエリア内でスローイングを完結した場合は問題ありません。(右下の足跡)

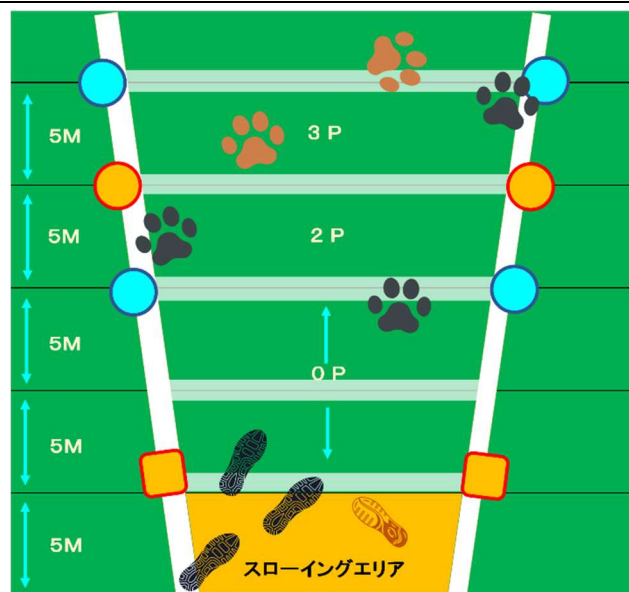
次の3つはフットフォルトです

- スローイングラインを踏み越している
- スローイングラインを踏んでいる
- サイドラインを踏んでいる

スローした時の足が着地した状態で判断します。

◎スタート時のファールに注意

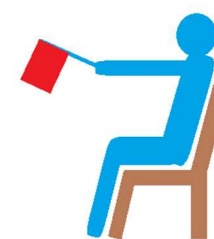
フットフォルトとドッグファールの違いを示すには、フラッグを挙げながら、人か犬かを指し示します
両方のファールの場合は、ドッグファールが解消されたかを確認します。



犬の着地とポイントの見極め

キャッチ直後に犬の足(一番手前に着地した足)がどの位置にあるかを確認します。

- まず、IN か OUT かを判断します。
- 次にポイントの境界ラインを踏んでいるかによりポイントを判定します
(踏んでいる場合は手前のエリアのポイントと判定)



スタート前にスローイングエリアから人・犬がはみ出ている際、フラッグを正面に差し出す警告サインを出します。
スタート前に解消したらフラッグは下げます。

◎競技の中断と再開 ※中断の判断ができる方を増やす改訂を 2026 年1月から施行しました

競技中に他の犬がフィールド内に乱入する等、**担当する3名何れかのジャッジおよびMC**が競技の妨げになる状況を確認したとき、時計を止め、その障害が解消され、安全が確認された時点で競技を再開します。時計を止めた時点からやり直すタイムの加減について、メインジャッジがサブジャッジ・ラインジャッジと協議のうえ決定し、その条件での再開か、最初からやり直すかは**原則的にプレイヤーに選択権を与えます**。(不明点は本部にご相談ください)